

雇 第 8 7 1 号  
令和 3 年 3 月 9 日

「ちばの魅力ある職場づくり公労使会議」構成団体の長  
関係県内経済団体の長 } 様

千葉県商工労働部長  
(公 印 省 略)

### 緊急事態宣言下におけるテレワークの実施状況アンケート調査結果等について

日頃から本県の雇用施策に御理解、御協力いただくとともに、感染拡大防止に御協力いただき厚く御礼申し上げます。

県では、緊急事態宣言下におけるテレワークの実施状況を把握し、感染拡大防止に向けた今後の取組に活かすため、令和 3 年 1 月 22 日付け雇第 7 5 1 号で県内の約 17, 000 事業所に対しアンケート調査への御協力をお願いし、2 月 8 日の期限までに 4, 972 件の回答を頂戴しました。貴団体構成員の事業主の皆様におかれましても、お忙しいところ御協力いただき、感謝いたします。

このたび、アンケート結果について別添のとおり取りまとめましたのでお知らせいたします。

アンケートの結果、「テレワークを現在、実施している」事業所は 19. 7%、「実施していない」事業所は「80. 3%」でした。また、未実施の理由につき、複数回答で聞いたところ、「テレワークに適した業務がない」（90. 3%）が最も多く、続いて「情報セキュリティ対策」（10. 7%）、「労務時間や進捗の管理が難しい」（10. 0%）となりました。

今後、県では、できる限り多くの企業においてテレワークが活用されるよう、働き方改革専用サイトを新設し、導入のヒントとなるような事例の紹介を行うほか、テレワークに適した業務の洗い出しに向けた相談事業の充実を図るなど、アンケート結果を踏まえたテレワーク推進の取組を進めてまいりますので、貴団体におかれましても、構成員の皆様等に対し、テレワークの更なる推進を働きかけて下さいますようお願いいたします。

なお、県のホームページに、今回のアンケート結果をはじめ、テレワークに利用可能なサテライトオフィスや先進事例などをまとめた専用ホームページを開設しておりますので御活用ください。

○千葉県テレワーク情報サイト：

<https://www.pref.chiba.lg.jp/koyou/koyoutaisaku/kinkyuu/telework-yobikake.html>

問合せ先  
千葉県商工労働部雇用労働課企画調整班  
電話：043-223-2767

## 緊急事態宣言下におけるテレワークの実施状況アンケート調査結果

### 【調査概要】

調査目的：緊急事態宣言下におけるテレワークの実施状況を把握し、感染拡大防止に向けた今後の取組に活かすため実施

調査対象：県内の16,941事業所

(雇用保険が適用される従業員を10人以上雇用する事業所)

回答件数：4,972件 (回答率29.3%)

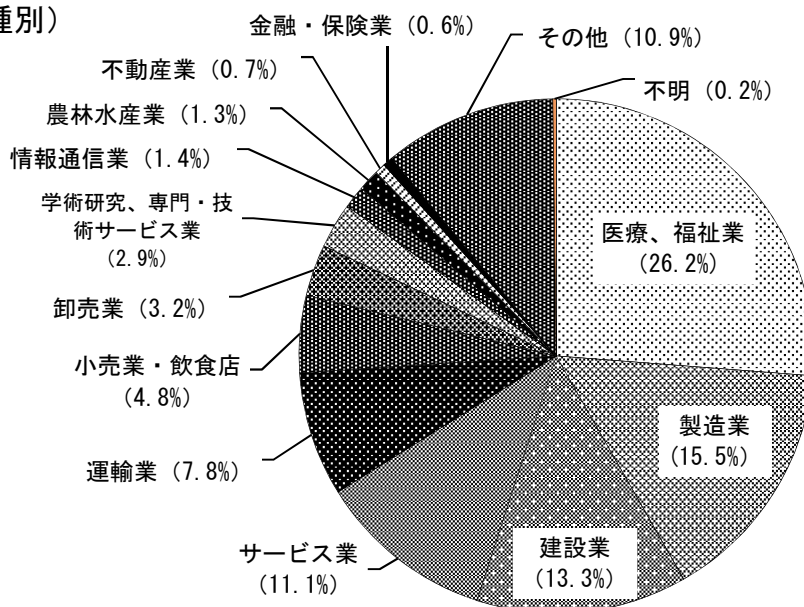
調査期間：令和3年1月22日～2月8日

調査方法：郵送による調査票の送付/FAX または「ちば電子申請システム」による回答

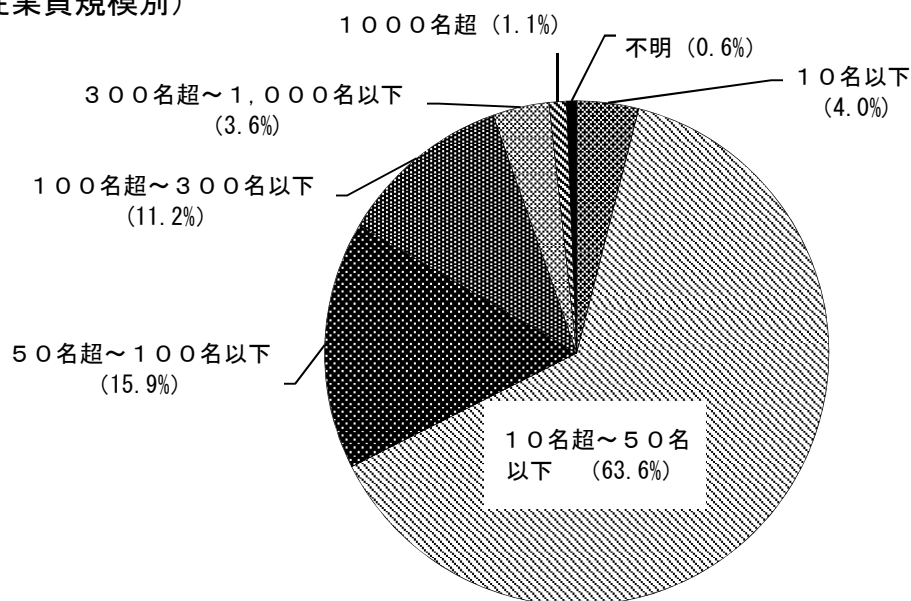
注：割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%になりません。

### 【回答事業所の属性】

#### (業種別)



#### (従業員規模別)



### 【テレワーク実施率】

テレワークを「現在、実施している」企業は19.7%で、業種別の実施率は「情報通信業」が最も高く82.9%、次いで「金融・保険業」が63.3%となった。一方、「医療、福祉業」は10.8%、「運輸業」は11.6%、「小売業・飲食店」は12.9%と低くなっている。

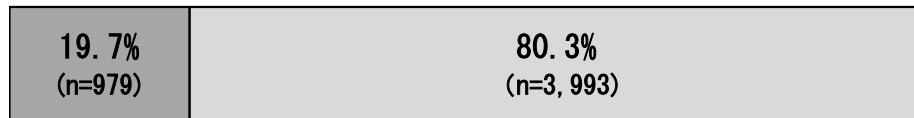
また、従業員規模別では、母数が最も多い「10名超～50名以下」では16.3%である一方、「1,000人超」の事業所は56.4%と、規模に応じて実施率が高くなっている。

### 問1 貴事業所では、現在、テレワークを実施していますか。

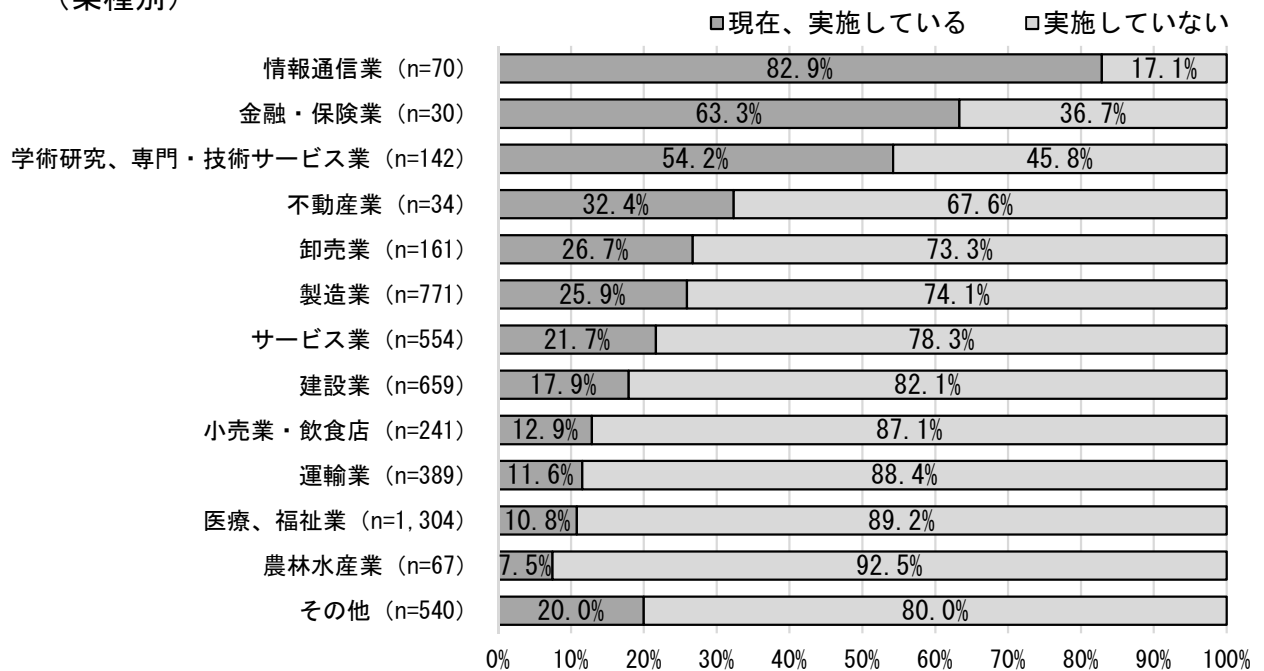
(全事業所)

「現在、実施している」

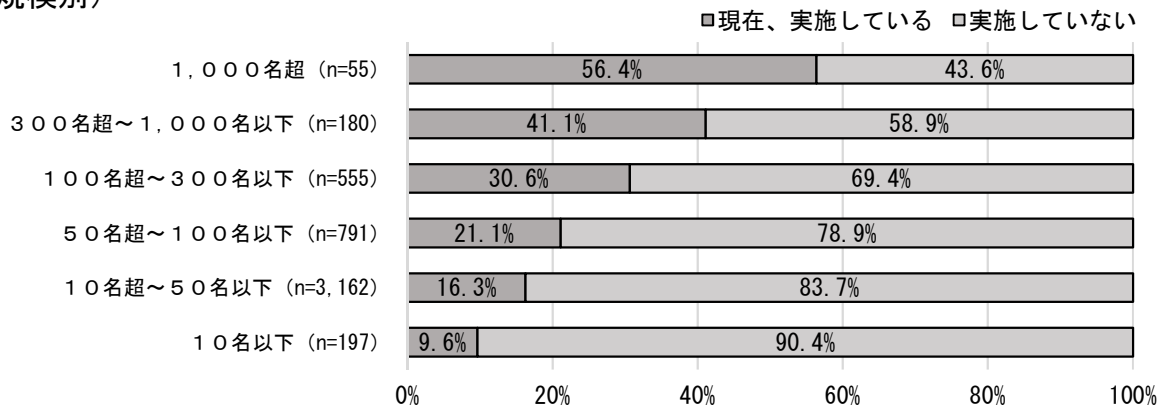
「実施していない」



(業種別)



(規模別)



### 【テレワークを実施している事業所の状況】

テレワークを実施している企業に、いつから実施しているかを尋ねたところ、「新型コロナ以降に実施した」が71.5%であった。また、テレワークを週に1日以上実施している従業員の割合は、「1割」が49.5%、「2割」が11.0%となっている。「テレワーク実施率の向上に向けた課題（自由記入）」でも、「事務部門はテレワークができるが、現場作業はテレワークができないため、これ以上実施率を上げられない」といった回答が多く見られた。

#### 問 A-1 実施状況

	回答数（件）	割合
・ 新型コロナ以降に実施した	700	71.5%
・ 新型コロナ以前から実施していた	118	12.1%
・ 一旦、中止していたが再開した	109	11.1%
・ 令和3年1月から新たに実施した	38	3.9%
・ 無回答	14	1.4%
計	979	

#### 問 A-2 テレワークを週に1日以上実施している従業員の割合

1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割	9割	10割	無回答
49.5%	11.0%	8.6%	4.1%	6.1%	2.5%	4.0%	4.1%	2.9%	4.7%	2.6%

#### 問 A-3 テレワーク実施率の向上に向けた課題があればご記入ください。（自由記入）

（主な課題）

- ・ 事務部門はテレワークができるが、現場作業はできないためこれ以上実施率を上げられない（製造、研究、倉庫、介護、保育、接客 等）
- ・ テレワーク可能な職種・部門と、不可の職種・部門で不公平感、不満が生じる
- ・ 個人情報、機密情報が持ち出せない
- ・ 従業員の自宅環境（Wi-Fi、作業スペース）、在宅手当の妥当性
- ・ 貸与PC、ノートPCの整備
- ・ 郵便物、FAX、押印を減らす必要
- ・ 取引先、派遣先の理解
- ・ コミュニケーション確保や新人の育成

### 【テレワークを実施していない事業所の状況】

テレワークを実施していない事業所の状況は、「これまで実施したことがなく、今後も実施する予定はない」が 82.3%、「一度実施したが、現在は取りやめており、今後も実施予定はない」が 8.3%となっている。

また、テレワークを実施していない理由について複数回答で聞いたところ、「テレワークに適した業務がない」を選択した事業所は 90.3%と最も多かった。

今後、テレワークを可能とするためには何が必要かという問いに対しては、「業務の見直し」が 34.4%となっている。

#### 問 B-1 未実施の状況

	回答数（件）	割合
・これまで実施したことがなく、今後も実施する予定はない	3,287	82.3%
・一度実施したが、現在は取りやめており、今後も実施予定はない	330	8.3%
・これまで実施したことはないが、今後実施を予定している	231	5.8%
・一度実施し、現在は取りやめているが、今後再開を予定している	92	2.3%
・無回答	53	1.3%
計	3,993	

#### 問 B-2 現在、テレワークを実施していない理由について、右記よりお選びください。 (複数回答可)

	回答数（件）	割合
・テレワークに適した業務がない	3,606	90.3%
・情報セキュリティ対策	429	10.7%
・労務時間や進捗の管理が難しい	398	10.0%
・テレワークに必要な知識・技術（ICT機器の操作・設定等）を持った従業員がいない	368	9.2%
・導入・運用コスト	182	4.6%
・取引先の理解が得られない	143	3.6%
・人事評価が難しい	124	3.1%
・その他	501	12.5%

#### 問 B-3 今後、テレワークを可能とするためには何が必要か、右記よりお選びください。 (複数回答可)

	回答数（件）	割合
・業務の見直し	1,374	34.4%
・LANの敷設や通信機器等のハード面の整備に対する支援	716	17.9%
・新たな技術の開発・導入（製造現場での遠隔操作技術など）	680	17.0%
・従業員のICTスキルアップ研修・意識改革	534	13.4%
・社内の規程整備	465	11.6%
・商慣行の変化	399	10.0%
・その他	1,501	37.6%

### 【テレワーク導入にかかる助成金・補助金の活用について】

テレワーク導入にかかる助成金・補助金の活用について聞いたところ、「活用している」は3.2%、「検討中」は9.4%であった。

活用していない理由（自由記入）で主なものは、「助成金・補助金の存在を知らない、どれが使えるのかわからない」といった回答が最も多く、177件であった。

### 問2 テレワーク導入にかかる助成金・補助金を活用していますか。

	回答数（件）	割合
・活用している	157	3.2%
・検討中	466	9.4%
・活用していない	4,025	81.0%
・無回答	324	6.5%
計	4,972	

#### ○活用している助成金・補助金等の名称（自由記入）

- ・厚生労働省「働き方改革推進支援助成金」 29件
- ・市町村独自の助成金等 16件 等

#### ○活用していない主な理由（自由記入）

- ・助成金・補助金の存在を知らない、どれが使えるのかわからない 177件
- ・企業規模の点などで、助成金等の対象外である 61件
- ・申請の必要がない 59件  
（すでに環境が整っていた、それほど費用をかけずに導入した）
- ・申請期限に間に合わなかった、申請したが不採択だった 29件
- ・申請に手間がかかる、煩雑である 24件